

回 答 書

2020年6月12日
日本貨物鉄道株式会社

2019年度の経済動向については、経済の緩やかな回復に始まりましたが、通商問題を巡る緊張、海外経済の動向、消費税引上げ後の消費マインドの落込み等の影響により減速傾向となったところに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が減速に追い打ちをかけました。

当社においては「JR貨物グループ 中期経営計画 2023」のもと、運賃改定の取組み、新規顧客の開拓、並びに収益性の高い区間の輸送力増強等の施策による収入の確保に取り組んできましたが、9月から10月にかけて相次ぐ台風の接近・上陸により、大きな輸送障害が続き、大幅な減収を余儀なくされました。特に10月に発生した「令和元年東日本台風（台風19号）」では、貨物鉄道の主要線区である東北線、武蔵野線、中央線が2週間以上に亘って寸断されましたが、社員の皆様のご尽力により、トラック・船舶による代行輸送や迂回運転を行い、収入確保に取り組まれました。さらに2020年2月には当社初となるマルチテナント型大型物流施設「東京レールゲート WEST」が竣工するなど、2019年度決算では鉄道事業は営業赤字となりましたが、全事業では経常利益71億円、当期純利益31億円を計上することができました。

今年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動が停滞し、当社においても輸送量の減少により運輸収入が大幅に計画を下回り、先行きが見通せない極めて厳しい状況にあります。

このようななか、当社は指定公共機関として、グループ一丸となって物流の大動脈を担う役割を果たしています。これは皆さんが感染の不安のなかにおいても使命感と責任感を持ち、職場において感染防止に取り組む、家庭においてはご家族の皆様と一緒に生活を自制する等といった努力と奮闘のおかげです。まだまだ厳しい状況が続きますが、引き続き“Challenge and Change”という気概で、鉄道輸送を基軸とした総合物流企業への進化、新規事業・新技術へのチャレンジ、貨物鉄道輸送の役割発揮に向けて、各施策を着実に実行していく必要があります。また面談や評価を行っている新人事制度についても、生き生きとやりがいの感じられる会社となるよう、定着を図っていかねばなりません。

社員の皆様には、当社を取り巻く現状を十分に理解していただき、JR貨物グループの未来に向け「One Group」として変革にチャレンジし、これらの施策を皆で取り組んでいくことを期待しています。

2020年度の夏季手当については、下記のとおり回答します。

記

1. 基準額

基準額は、基準内賃金の1.75箇月分とする。

2. 支給日

2020年7月7日（火）とする。

ただし、昇給、昇格・昇級による基本給調整及び評価に応じた成績率に伴う支給は、2020年8月の給与支給日とする。

3. その他

55歳に到達した社員の取扱いについては、従前どおりとする。

以 上

(メモ)

2020 年度夏季手当の支給額等について

1. 社員数 5, 3 5 9 人

2. 年齢・勤続年数

3 7 . 5 歳

1 6 . 8 年

3. 支給額等

(1) 基準内賃金 2 8 6 , 8 1 2 円

(2) 支給額 5 0 1 , 9 2 1 円